

佐賀県庁職員がウガンダの農業開発支援に！

- TICAD7が2019年8月に実施され、アフリカへのさらなる農業開発支援が約束されました。
<https://www.jica.go.jp/africahiroba/ticad/>
- そのうち、ウガンダのコメの振興支援に佐賀県農業試験研究センターの金子正寿氏が参加します。（2019年11月5日出発予定）
金子氏は、長年、イネの研究、普及業務に従事されるとともに、JICA海外協力隊（ケニア：1979年～1981）の経験もごさいます。
- ウガンダでは、2016/2017年度におけるコメの自給率は約65%（生産量23万トン）ですが、コメの需要増に伴い、近隣諸国やアジア等から輸入が増加しているのが現状です。2000年代から我が国の稲作協力を通じ、稲作栽培面積は拡大していますが、コメの生産性は未だ低くとどまっています。そのため、生産増に加え、アジア等の輸入米に匹敵する品質のコメを生産する能力を強化が求められます。
- 金子氏が派遣されるJICAコメ振興支援プロジェクトでは、①研究・開発技術の普及への反映（研究／普及連携強化）、②研修・普及の企画・実施能力の向上（普及・研修体制モデル構築）、③上位種子生産能力強化を通じて、コメ生産性と品質の向上に向けた研究・普及体制整備を図っています。

専門家の派遣に併せ、専門家への取材の機会を設けますので、是非、ご本人への取材をご検討ください。取材をご希望の場合は、下記宛にご連絡をお願いいたします。

【本件に関する問い合わせ・申込先】
JICA九州 市民参加協力課 山下
TEL 093 6718 250 Email: Yamashita.Hideshi@jica.go.jp

※取材をご希望される場合、事前にご連絡をお願いいたします。